

開催目的

- ・ 駅前広場のマネジメントを見据え、駅前広場に期待される役割やどのような関わり方ができるかなど、民間事業者等の方々と意見交換を行いました。

➤ 駅前広場に期待される役割とは

参加者の意見

- ・ 駅周辺は市内の産業や食などの情報が集約される場所なので、市外や県外の人が情報にアクセスしやすい場所になるべき。来街者の出発点としての役割があると思う。
- ・ ビジョンのように人が集う場所ということと言い切ってしまうのもよいのではないか。
- ・ 現状は単に通過する場所になっているが、起点と終点の中間領域として、一旦、人を集めるという目的を持たせると良いのではないか。そこで情報発信をすれば、情報が広がりやすいと思う。
- ・ 人を集めることには賛成だが、駅周辺に多様なエリアが存在するので、駅前広場に「にぎわい」という役割を持たせなくても良いと思う。昔、福山城下であったことから、むしろ「安心」という役割の方が適していると思う。
- ・ 人を集めただけでは意味がない。人と人との出会いや交流によって、イノベーションが生まれることこそ、中間領域の価値だと思う。
- ・ 行き場の無い若者達を包み込むような場所になれば良い。案内役のような招き入れる人が必要だと思う。
- ・ 福山駅は福山城の中にある。遺構を生かすことで日本に誇れる場所にすると良い。福山らしさを感じられるものを配置して、市民の憩いの場所として使われると良いと思う。
- ・ 広場の役割をあまり決めつけ過ぎずに、自由に使えるようにしておきたい。



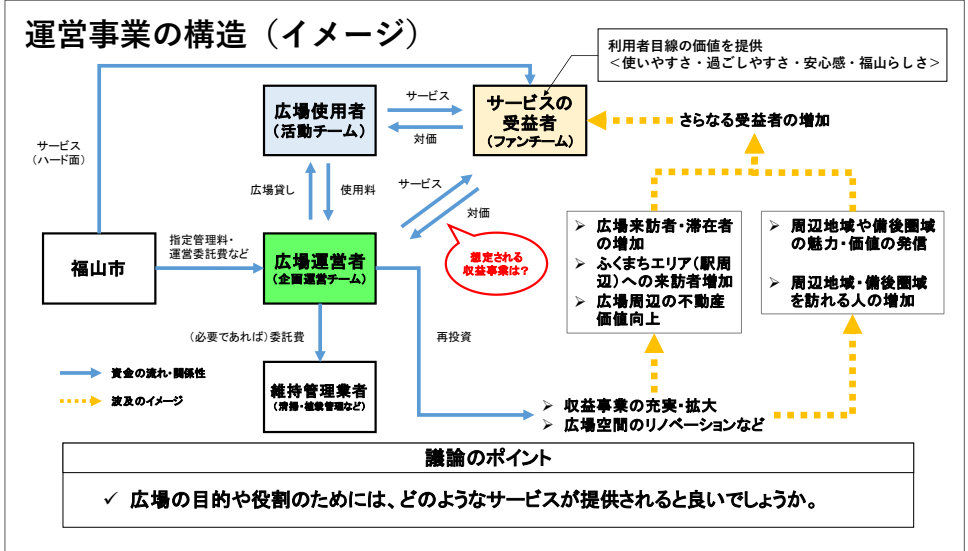
アドバイザーの意見

- ・ にぎわいは結果なので、にぎわいを目的にしない方がいい。
- ・ 自由に使えるようにした方がいいと思うが、自由が混乱を招かないようにある程度コントロールした方がいい。コントロールは行政ではなく、活用や運営する人達が行うべき。
- ・ 活用や運営する人達が自ら地域の人達とコミュニケーションを図り、信頼関係を構築していくことが必要。
- ・ 自由の代わりに責任や役割を考える事が公共の場所を考えていく上で大事なことはないか。

➤ どのような関わり方ができるか

参加者の意見

- 家具メーカーとして、飲食や休憩する空間を家具で作れると思う。福山産の木材で作れば、林業に携わっている方々にもスポットを当てられ、**産業の好循環**にもつながる。
- 他の事業者とコラボすることで様々な相乗効果が期待できる。
- 駅前周辺の事業者としては、駅前広場が周辺の事業者から**収益を吸い取る構造**は望ましくない。
- 駅前広場で周辺と同じ収益事業を行われると他の場所と被ってしまう。人を取り合う構造になる。
- このような場を通して、**事業者同士の関係性を構築**しないといがみあってしまう。
- 稼ごうとするとシェアを奪い合ってしまう。**市外から来た人がお金を落とす収益の構造**を考えないといけない。
- 魅力的な場所が増えていくことで、人が移動し、駅前周辺全体がウォーカブルなまちになっていく。
- 購買意欲が少なくなっているような気がする。イベントは続かない。イベントに頼ることなく、**日常的な営みを充実させていくことが一番大事**。
- 夢が詰まった場所を作っていくためには、ハードの居心地の良さも大事になるが、それ以上に、運営する人がちゃんと見守っていたり、丁寧に説明することで広場に関わる人達との**関係性を構築**することが大事になる。民間事業者が独自に活動していくために必要な経費を確保する**スキームの検討**が必要。



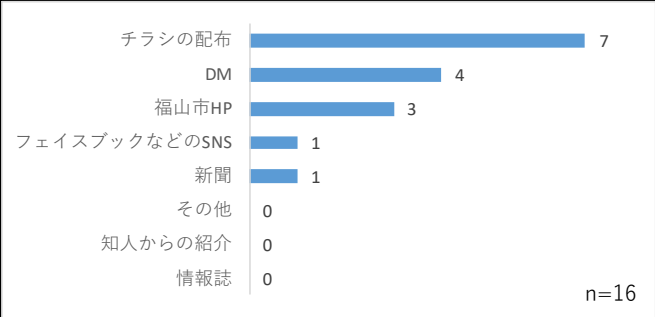
説明資料より抜粋

アドバイザーの意見

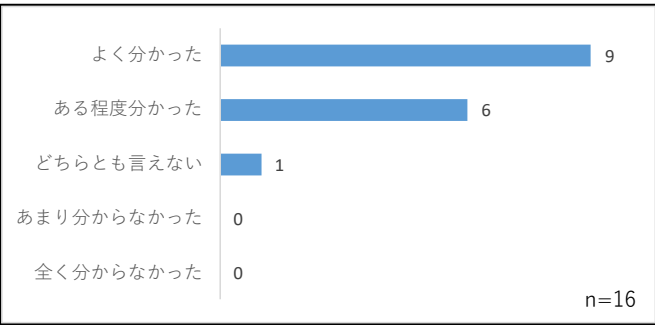
- 広場の運営者が中心となって、**エリア価値を向上させる好循環**を作っていくことが大事。
- イベントよりも**日常をつくる**ことが大事。
- 駅前広場は**メディアである**という意識を持った方が良い。**対立構造を生むのではなく、商品などの宣伝を行うことにより、新規顧客の獲得**をしていくと良い。
- 周辺の事業者が積極的に使っていける場所になるための**運営ルール**を作っていくことが必要。
- 駅前周辺と広場との**シェアの奪い合いへの配慮**や**誰が広場を管理運営するのか、その経費をどのように捻出していくか**などといった議論を深めて、市民の力でしっかりした広場の運営が実現すると良い。

アンケート結果

Q1 どこで本シンポジウムを知りましたか。



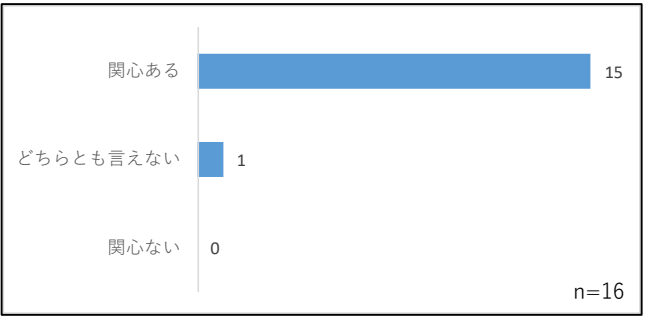
Q2 福山駅前広場に関する検討経過について



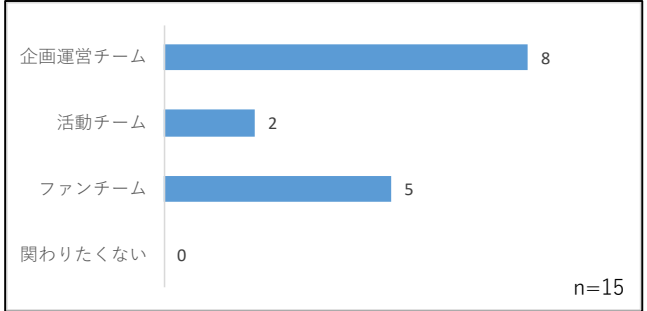
(Q2) (自由記入) 福山駅前広場に関する検討経過について初めて知ったことや興味を持ったこと、感じたことなど

- これまでの経過がある程度わかった。
- 様々な意見を出す機会があり、とても有意義な時間だった。
- 駅前に広場ができる事。歩いて街を巡る構想に共感しました。
- 福山駅前広場をテーマにこれだけ多くの方が集まり意見交換が行われることはすごいことだと感じた。

Q3 官民連携による駅前広場の運営管理に関心はありますか



Q4 駅前広場の運営管理に関わる場合、どのような立ち位置で関わりたいと思いますか。



アンケート結果

Q5 本シンポジウムに参加して、印象に残ったことや感じたことはありますか。（自由記入）

※自由意見は一部抜粋して掲載しています。

- 色々な方々の多様な意見が聞けて良かったです。
- 色々な立場の方の率直な意見が聞けて面白かったです。
- 様々な立場の方々がいることが分かり勉強になりました。
- 広場の運営管理に取り組みたいのでサウンディングをお願いします。
- よいシンポジウムでした。今後も続けてください。また参加します。
- 福山駅は交通のハブ。福山駅は長く滞在する場所というより、電車などの乗換え時間を過ごす場所。目的として来る場所にするとうまいと思った。
- 駅前だけの問題ではないからこそ、仕組みづくり、ルールづくりが大事だと感じました。
- 本日のみなさまの意見は今後の駅前広場のあり方を検討するうえで非常に勉強になった。駅前広場を「ウォークアブル」に「にぎわい」という、みなさまの強い想いを感じた。感想にはなるが、福山駅前広場に市外（外国を含む）から人を呼び込むのか、地元の人を集めるのかが分からなかった。ただし、みなさまの意見は真剣なものと感じた。
- 広場使用者として考えられる方々にもこのようなシンポジウムに多く参加してもらい意見聴取をしてほしい。
- 闊達な意見がたくさん出て興味深く参加できました。にぎわいを作るための仕掛けも重要ですが、より多くの人が集いやすくするために、周辺地域の住民や外からの人にとってアクセスしやすいターミナル機能についても検討してみたいと思いました。より多くの人を楽しめることができるエリアになるために。期待しています！
- 広場ではなく、安心できる杜（もり）という考え方や、それぞれの公園や広場にある程度の役割を設けるという考え方はいいなと思いました。個人的には福山に来たらまずここに行けばいい、と思えるような情報が集まる場、ハブ的な場となればいいなということと、「日常づかい」ができる場として近隣のマンション住まいの人たちや高齢者が活躍できるなんらかの場（畑や花壇運営に関われる仕組みなど）ができればいいなと思いました。イチの運営期間の間にイチを活用しつつ、その仕組みづくりができたならその後、駅前に機能を移せるのでは？とも思いました。

- 半年前に犬を飼い始めたが、有料でも立地の良いドッグランがあれば良いと思う。福山サービスエリアのドッグランには休日に多数の方が来られているし、これからマンションが出来てくれば犬を飼う方も増えるはず。ひとつのコンテンツとしてドッグランは面白いと思う。
- 活発な意見が交わされたのは良かったが、駅周辺事業者の方が多かったので少し意見が偏った感があります。もう少し利用者に集まってもらい意見を聞くのも良いかと。駅前周辺をどんな街にしたいのか、そのために何が必要なのか、という順序で考えていくと、駅前広場の役割も絞って決められるのかも。福山は自動車社会です、郊外と同じ機能では駐車場代のかかる駅前は競争力では厳しい、歩いて、公共交通機関、自転車で来れるエリアをターゲットに平日でも来てもらえるような魅力あるまちづくりに期待します。観光客より、まず市民から支持される駅前に、市民が誇れる街になれば、自然と観光客も集まると考えます。外国人住民にもスポットをあててくださいね、宜しくお願いします。
- 駅前広場を生かすコンセプトが必要な事に気が付いた。広場が持つ魅力を最大限に拡大するコンセプトは福山城。広域な駅周辺の「サムライ駅前テーマパーク」や「駅前タイムマシーン江戸時代」、「駅前城下町」はどうか。最近は「ゲートウェイ」もありかも。駅前をお城テーマパーク化して、日本で唯一の場所にする。世界でも大人気の日本文化（侍の世界）を体験できるようにすれば、世界からディープな日本文化を求める観光客が訪れる。「新幹線のぞみの停車駅」と「お城」と「城下町」の三点セットの観光地は世界にも日本にもない。上手にPRして、国内外の観光客を集客すれば、福山駅前が世界にも日本にもない唯一の面白い駅前の街になる。色々な仕掛けが必要だろうが、地元民も周辺住民も駅前に遊びに来る可能性は高まる。結果、駅前に人が集まれば、お店の出店やイベントの開催が増え、駅前の魅力が増し、駅前広場を活用したい希望者も増えるだろう。そのような好循環を作り出せば、駅前広場の開発は成功するだろう。私が提案したシャッター商店街、城下町民泊への衣替えも、こうしたコンセプトの下で生きてくる。多くのインバウンドの興味は普通の日本人の生活を街で体験すること。城下町民泊で長期間宿泊して、食事は外食などでの消費を喚起すると良い。福山駅の外観のお城化も良い。福山城築城400年の流れを維持拡大することで、福山中心部の活性化も可能。駅前広場には福山城の城跡をできる限り忠実に再現してもらいたい。

今後について

本シンポジウムにおける市民や事業者のみなさまからのご意見やご質問については、今後の福山駅前デザイン会議や福山駅前広場協議会の検討に加えていきます。

今後も引き続き、福山駅前広場デザインシンポジウムのような場を設け、駅前広場の検討の経過を発信するとともに、多くの方々の意見を聴きながら、市民のみなさまが誇りに思える駅前広場を市民のみなさまと一緒に作り上げていきます。

